

広報調査委員会

4月7日

本部会議室

出席委員等10人

4回の開催を検討 メディアとの交流企画

2015年度の新規事業「ファン雑誌・WEB交流会」の企画、手法について協議した。事業の目的は、メディアを通じてファンへの日遊協及び業界の発信力を強化すること。そのためにファンと一番近いメディアとしてファン雑誌、WEB等を選んだ。当面、交流会はファン雑誌、WEBで別々に半期に1回ずつ開き、合計4回の開催が考えられている。



メディアとの交流などを協議した広報調査委員会

現在、交流の対象に予定しているメディアは、ファン雑誌関係では2010年ごろセキユリティー

対策委員会に協力して「パチンコ攻略法詐欺撲滅キャンペーン」を展開したファン雑誌連絡会の6社、WEB関係では4月25、26日の「パチンコ&パチスロフェスタ2015 in ニコニコ超会議2015」(千葉・幕張メッセ)の協力企業6社、それにケーブルテレビの放送局1社が考えられている。

「安心娯楽宣言」のPR協議

遊技産業活性化委員会、パチンコ・パチスロ産業21世紀会など依存問題を中心とした最近の業界の動向が報告された。その中でとくに21世紀会で作成中のウェブサイト「安心娯楽宣言」について、活性化委員会に提言するための意見を交換した。このサイトは社会に対して業界が取り組んでいる依存対策などをわかりやすく説明して、業界への偏見や誤解を取り除くことが目的。当面は各団体のホーム

ページにバナーを貼る予定だが、ターゲットに想定しているパチンコ無関心派を含む一般の人たちを、サイトまでどう誘導するのかが工夫が必要などの意見が多かった。

作成中の遊技産業実態調査(業界情報まとめ)に関して、Q&Aの各項目の回答内容を検討した。

遊技機委員会

4月21日

本部会議室

出席委員等14人

WEB投票で選考終了

「遊技機アワード2015」

「遊技機アワード2015」の受賞機種を選考した。「パチンコ大賞」は(遊パチタイプ部門)〈ライトミドル〉マックスタイプ部門)、「パチスロ大賞」は(ノーマルタイプ部門)〈AT・RT・ART部門〉の計4部門で、ファン雑誌4社から14年度の人気機種を提供してもらい、それらをノミネート機種にしてホール関係5団体(全日遊連、日遊協、同友会、余暇進、PCS A)の会員・組合員企業の所属社員からWEB投票してもらった。得票数に従って各部門の1〜3位の機種を確認した。

また、「パチンコ特別賞」「パチス

ロ特別賞」については、各メーカーからエントリーしてもらった自薦機種について同様にWEB投票をしてもいい、その得票数を参考に改めてこの日、委員会として選考した。「パチンコ特別賞」に3機種を選び、「パチスロ特別賞」については該当なしとして今回は見送った。発表は第26回日遊協通常総会(6月11日、ハイアットリージェンシー東京)で行われる。

風宮法PPT

4月28日

本部会議室

出席委員等10人

「量定水準」について報告

警察庁が4月1日付で都道府県警察に通達した「量定水準」の改正について報告された。現金等提供禁止違反、賞品買取り禁止違反の2事案について、いずれも量定のランクを「C」から「B」に改めたもの。「C」は「営業停止20日以上6月以下」基準期間40日であったが、「B」は「営業停止40日以上6月以下」基準期間3月」と厳しくなったことが説明された。

カジノ関連のIR法案が今国会に提出される見通しだが、その情勢の変化について報告、検討された。

女性招集して情報交換「活躍推進」企画練り上げ

新年度の事業として、人材育成フォーラム(女性活躍推進)の内容を検討した。このフォーラムの目的は、性別・人種等に拘らず多様な人材を積極的に活用しようという、

いわゆるダイバーシティの考え方が普及する中で、遊技業界では女性雇用の安定が果たせないでいるので、女性のキャリア支援を業界団体として後押しし、女性の意見を企業の代表・幹部に届ける場を設定して改めて女性活用に関心を持ってもらおうことだ。

現在考えられている手法の一例

として、昨年度まで会員企業の人事・総務部を中心に情報提供・交換の場として機能していた「人材育成フォーラム」の形



を活用し、各社女性社員を招集して情報交換の場を提供し、女性だからこそできる企画を練り上げ、提案する——等が挙げられている。

担当者招き分析

リクナビの「合同説明会」

さる3月7日、東京ビッグサイトで行われた「リクナビSUPER Rスタートアップ★LIVE」での「ばちんこ産業合同説明会」(ブース名「業界理解セミナー パチンコ・パチスロ編」)の結果の振り返りと今後に向けた方策についての意見交換が、主催者側の(株)リクルートキャリア担当者の出席で行われた。同社の調べでは、前回のイベントに比べ出展社数は525社と倍増したが、来場者は2万261人で微増にとどまり、全ブースでの平均着席数は179人で半数以下に落ちた。日遊協ブースに限っても入場者は251人で前回の603人を大きく下回った。これは、就職準備期間が6か月から9か月に延びることにより3月時点で希望

業界・企業を定めた学生が増えたこと、説明会開催企業が増加したことなど採用マーケットの変化を指摘した。

社会貢献・環境対策委員会

4月10日
本部会議室
出席委員等12人

パチスロ機改良で要望

「認知症」の臨床実験用

6月19、20日に宮城県東松島市矢本地区で行う、海岸防災林再生の植林「日遊協共生の森・東松島」の全体スケジュールなどを検討した。参加予定は、東北、東京都・関東、九州の3支部ボランティア隊、社会貢献・環境対策委員会、埼玉森林サポータークラブ、事務局から計約70人。前日の6月18日を準備作業に充てる。今回日遊協が担当する植栽地は0・63ヘクタールで、2日間で3150本のクロマツを植える予定。

「認知症予防」軽度な認知症患者の認知症抑制のためのパチスロ機を使った臨床実験が、昨年8月から茨城県・筑波大学付属病院で日遊協の協力の下に続けられているが、同病院から臨床実験のパチスロ機について、リールの図柄を大

きくできないか、リールの最低回転速度をより遅くできないか等の改良要望が来ていることが報告され、日電協に打診する。

パチンコでも認知症対策を

一方、パチンコ機についても確率変更など手を加えた機械で認知症予防・治療の可能性を探ることになり、データ収集を含めた研究を日工組に提案していく。

4月1日に施行された「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」(改正フロン法)について説明があり、情報を共有した。

流通勉強会

量定水準改訂を詳しく

第11回流通勉強会が4月21日、本部会議室で開かれ、近畿、東京都・関東両支部の景品卸関係5社の代表が出席した。本部からは庄司孝輝会長、福井章担当副会長らが出席した。

警察庁が4月1日付で行った行政手続法に基づく処分基準のモデル(風営法に係る営業に限る)で、停止命令等の量定基準に関し、改められた内容が説明された。

手数料制について、地方での現状が報告された。

「諸課題に本気を出して」樋口支部長が現状の危機訴える

日遊協九州支部は4月9日、グランドハイアット福岡で平成27年総会を開いた。決議事項はなかったが、支部・本部関連の報告、パネルディスカッション、講演などが行われた。

樋口益次郎支部長は「ことしは世界の混乱の中、よりよき道を求める年であるとも言われます。現在私たちの業界に対して、行政から射幸性、賞品、広告宣伝など多くの要請が出されています。遊技人口が1千万人を割っているのに、これらの問題をきちんととらえているのか疑問があります。そのためにも横断的組織として先頭に立って活動していきたい。一生懸命は深刻になるが、本気は真剣になると言います。本気を出していきましょう」と支部会員の決意を促した。

来賓として出席した庄司孝輝会長は「活性化委員会の各代表参加による強化、日工組の団体加盟など産業としての活動を加速していきます。産業界は大きくまとまって社会に対する責任を果たさなければ

ならない。日遊協は志願兵の集まり、2020年に遊技人口2000万人に戻すためによりしくお願いしたい」とあいさつした。

議事に入り、福山裕治副支部長から平成26年度支部活動報告、伊東慎吾常務理事が本部活動報告、篠原弘志専務理事が「最近の情勢」について説明した。「支部ボランティア活動収支報告」は八坂真吾副支部長が、「支部重点推進事項」については樋口支部長が説明した。



支部会員に「積極的活動」を呼びかける樋口益次郎支部長



1年間の活動が報告された九州支部総会

庄司日遊協会長 阿部全日遊連理事長 「業界の未来」で討論

第2部としてセミナーが開かれ、他団体からも含めて169人が参加した。来賓の九州管区警察局広域調整第一課の小島紀夫課長と九州地区遊技組合連合会の岩下博明会長の挨拶を受けたあと、日遊協・庄司孝輝会長と全日遊連・阿部恭久理事長のパネルディスカッションが行われた。

「業界の未来は我々が創る」のタイトルどおり、両トップは、遊技の選択肢を増やすためのメーカーとの関係、依存問題、ECO遊技機などについて積極的に突っ込んだ意見を交わした。

阿部理事長が「ファンは何を求めているか。《安く、近く、短時間の遊技》の原点に立ち返り、業界が一体感を持って、それぞれの持ち場で力を発揮していかねばならない」と議論をまとめ、庄司会長が「環境の変化に対応していくことが大切。商売ではなく産業界とし

て発展し、従業員が胸を張って働けるよう、痛みはともなっても10年先を見つめてがんばっていきたい」と応えた。

茂木欣人風営法PTリーダーが「依存問題ガイドライン、自己申告プログラム」と「置き防止対策」について講演し、セミナーを終えた。

場所を移し70人が参加して懇親会が開かれ、岩見吉朗相談役の「お疲れさま」のねぎらいのあいさつを皮切りに談笑の輪が広がった。

5月の行事予定

日	時間	内容
8日(金)	15:30~17:30	人材育成委員会
11日(月)	10:00~16:50	取扱主任者更新講習・試験(札幌)
	14:00~20:00	中国・四国支部総会(広島)
13日(水)	10:00~12:00	推進機構理事会
	13:30~15:00	貯玉補償基金理事会
	15:30~17:30	広報調査委員会
14日(木)	14:00~15:00	東北支部総会(パレス平安)
18日(月)	15:00~20:30	中部支部総会(名古屋)
19日(火)	10:00~17:10	取扱主任者新規講習・試験(仙台)
	15:30~17:30	遊技機委員会
20日(水)	10:00~16:50	取扱主任者更新講習・試験(仙台)
	16:30~17:30	不正対策室会議
21日(木)	13:30~16:00	理事会
26日(火)	13:30~15:30	貯玉補償基金臨時総会
28日(木)	14:00~17:30	新経営者会議

近畿支部総会

「厳しい状況打破に全力」福井支部長が
会員の協力を要請

日遊協近畿支部は4月17日、大阪市のKKKホテル大阪で67人が出席して支部総会を開いた。福井章支部長が冒頭にあいさつし「遊技人口の減少、特に若者の遊技離れなど厳しい状況が続いている。日遊協本部は活性化委員会の活動、プロ



来賓としてあいさつし、全般の情勢を説く庄司孝輝会長

総会冒頭に支部会員に結束と行動を呼びかける福井章支部長

ジェクトチームの強化、ガイドラインはじめ依存問題の取り組み、フェスタの開催など推進しているが、支部としても全力をあげて協力し、支部独自のセキュリティ対策部会も充実させたい。それには皆様会員の協力が不可欠で、一緒に頑張りましょう」と要請した。

「新しい遊技機活かし」

庄司孝輝会長は「マルホン、奥村遊機の経営破綻が起こったが、大きなメーカーまで不況の嵐に巻き込まれている。我々は、社会的な責務としての依存対策、日工組

講演するPOKKA吉田氏



KA吉田氏が「今年

なければならぬ。日工組の日遊協への団体加盟に続く団体も現実になろうとしている。日遊協会員すべての力を結集したい」と話し、来賓のあいさつとした。
大阪府警察本部生活安全部の山元正一保安課長から「最近の情勢について」の講話があり、本部活動報告は江口憲治総務課長が行った。
POKKA吉田氏が講演

第2部としてセミナーが開催され、135人が参加した。POKKA

レーションと展望」と題して講演し、これからの遊技機の傾向とその意味するところを解説し、低射幸性の遊技機をどう活かしていくべきか、カジノ問題もからめて展望を示した。

日遊協本部の伊東慎吾常務理事が「依存問題と引き対策について」講演し、依存問題については「社会的責任として取り組まねばならない課題であり、業界の将来の繁栄にとって重要なポイントになる」と話した。近畿支部セキュリティ対策部会員らによる「遊技機点検のワンポイントアドバイス」の講演では、映像を多数駆使して具体的なゴト対策を提示した。総会、セミナー後懇親パーティーが開かれ、全日遊連はじめ各団体の来賓とともに、さまざまな話題で歓談した。

日遊協・警察庁連絡会議
「遊技機」「依存」など
多岐にわたり報告、意見交換

日遊協と警察庁の連絡会議が4月16日、東京千代田区のグラウンドアーク半蔵門で開かれ、警察庁から担当官のご出席をいただき、日遊協からは庄司孝輝会長以下副会長7人、専務理事、常務理事、顧問、相談役が出席した。

庄司会長が業界における現状認識を述べ、多様で遊びやすい遊技機の開発、依存や引きに対する取り組みなどを総括的に説明し、各担当からそれぞれの活動について報告された。

出席者は遊技機、依存など業界の置かれた状況や今後の課題について意見を交換した。

風営白書 訂正

新潟、三重、福岡の遊技機数

警察庁はこのほど、「平成26年中における風俗関係事犯の取締り状況等について」（風営白書、本誌4月号掲載）に関連する都道府県別資料「ばちんこ屋営業所数及び遊技機別備付台数」（平成26年末）の数値の一部を訂正した。

訂正箇所は新潟、三重、福岡3県のばちんこ遊技機、回胴式遊技機のそれ

ぞれ備付台数の数値。新潟県は「ばちんこ5万4545台、回胴式2万7130台、計8万1675台」、三重県は「ばちんこ4万8278台、回胴式2万2979台、計7万1257台」、福岡県は「ばちんこ12万6179台、回胴式7万7998台、計20万4177台」にそれぞれ訂正された。これにより、合計数値も「ばちんこ295万4285台、回胴式164万3290台、計459万7819台」となる。